

新入園児の母への手紙

鹿野京子

彌吹く風は膚に冷くとも、陽射しはうららかに、庭隅の花壇の軟かな黒土を持ち上げて新芽の幾つかが、未だ稚いながら力強く春の訪れを謳つて居ります。

お手紙拝見致しました。葉子様御入園の由本当にお目出度うございます。貴女に手をひかれて赤い靴の足どりも覚束なくお訪ね下さいましたのはつい此の間のことの様に思はれますのに、早いものでございますね。初めてのお子様のことではあり、お喜びの深さも又何かと御心配の多いでしょうとも御察し申し上げます。私も一人の母として入園式に爐みしました日、いたいいけな子等の姿に胸迫る思いが致しました。今、年々の春に新しい子供達——ひとりくが夫々の家庭に又社会にとつて、かけがえのない宝であります——の清らかに生き生きと輝く臍を迎え入れる立場になりました、年毎のならいとは申しながら、身も心も更まる思いが致します。折柄、新入園児の母として心得て置きたいこと等話す様にとのお手紙頂きまして、私の思いつきますこと幾つか申述べて見ましよう。

時折、私共はお母様方の口からこんな言葉ををききます。

「子供が幼稚園へ出掛けてくれますと本当にホツと致します」内職の手もはかどりますしね」又子供を送り出しながら「よくお勉強してくるのですよ」それから「こちらの幼稚園は××小学校への入学率が大変宜しい相で——」もとより入園を希望するお母様方のすべてが此の様に考えて居られる訳ではありませんまい。それならば幼稚園とは何んな所でしょうか。

幼稚園は且て考えられた様に、単に家庭教育を補ふ施設でもなければ、託児所でもなく何やかや物を教え込む所でもない、まして特殊な学校への準備教育を行う場所ではありません。今日の幼稚園は教育基本法と学校教育法によつて定められた教育体系の最初の学校として、幼稚園独自の使命と目的を有つて居るのです。即ち適当な環境の中に、幼児の生活に即した教育課程に基づいて、幼児を楽しく遊ばせながら、その一人々々の心身共に健全やかな成長発達を助成し将来よりよき社会人

として生活し得る基礎を培うことにあります。
次のことを先づお母様方に充分理解して頂き
たいと思ひます。

人格の基礎は、生後五ヶ年の間につくられると云はれます。成長発達の上にそれ程重要な幼児期を、よき幼稚園環境の下に望ましい生活経験をさせ、それが何んなに大切なことかよくお判りのことと思ひます。

幼稚園教育の本質から考え、その目標達成のためにも、又幼児は社会性の芽生える年齢の上からも、新学前二ヶ年の幼稚園教育が是非とも必要であり、最も適当と考えられます。

近年幼児教育の重要性に鑑み、なるべく多数の幼児に幼稚園教育を与えるために、公立幼稚園に於ては一年保育の者を優先的に入れる傾向が見受けられます折柄、二年保育を建前とする私立幼稚園に於ては、更に施設の向上、教育内容の充実に努力して居ります。

尚、私立幼稚園には私立としての独

自性が考えられます。

或いは独自の教育理想を掲げて、或ひは宗教教育を以て行はれる場合もあります。

又、特殊な音楽教育や体育等を採用する場合も有ります。(もとより何処までも教育の本質を外れてはなりませんし、行きすぎは、戒められなければなりません)

家庭の理解と協力が必要ですが、幼稚園としては有りがちな、親達の虚栄心や利己心に迎合することなく、幼児を通しての深い影響力をもつ家庭教育の指導に迄及びたいと思ひます。

勤めをもつ母の留守を近隣に遊び友達もな
いままに、想像の幼稚園に通ひ、想像の友達
「あきらさん」や「よし子さん」と遊び暮し
た私の子供が、いよ／＼思ひが叶つて現実の
幼稚園に通える様になりました時の喜びは、
誠にいじらしい許りでした「幼稚園で一番う
れしいこと」は、ブランコでも砂場遊びでも
人形芝居でもなく「お友達と遊べること」と
ためらわずに答えました。

幼児が家庭の外に友達を求めて遊ぶ様にな
りますのは、その心身の成長発達、特に社会

性の芽生えに基づくものであり、集団
生活への参加の要求は非常に強いもので
あります。

幼稚園は幼児の正しい成長発達に適
切な生活環境として、幼児に集団生活
をさせる所です。「先生、御本見ても
よろしいですか」初対面の先生にも笑
顔でも、云える子、高く積み上げて
はくずし、家になり、汽車になり、積
木遊びに余念のないグループ、手をつ
ないでブランコへ、江り台へと元気よく駆け
出して行く子供達。心身が正常に發育し、又
近隣の友達との遊びを通して社会性の発達し
て居る幼児は、新しい環境にも容易に馴染む
ことが出来ます。

けれど大多数の新入園児にとつては個々の
家庭生活から幼稚園と云う集団生活への環境
の激変が、その幼い心身に大きな影響を及ぼ
さずにはおきません。

登園の日を指折り教えて待ちながら、いよ
／＼その朝になると行き渋り、幼稚園の門前
で足ぶみし、母にひしと寄添うて少しでも側
を離れ、ば泣き叫び、或いは無言のま、遊び
の仲間にも加はらず、たゞぼんやりと眺めて

居る許りの子供達、更には不眠、食欲不振、
発熱等身体障害さえ惹起す者もあります。此
等は、多く一人児末子等家庭に於て世話をさ
れすぎた子供、社会性の発達の不十分な幼児
に著しい現象です。

中には亦、乱暴に友達遊びの妨害をした
り、共同の遊具を独占したり、所謂がき大将
やいちめつこの存在も見受けられますし、何
くれと友達世話をやぐ女児もあります。
この様に家庭から幼稚園へのうつりかはり
は同じでも、その反応の仕方や度合はひとり
く異つて居ります。

そのさまざまの子供達を無理なく集団生活
に導きよるこんで集団生活をさせるには――
一日も早く先生を中心に園児達みんな
の仲よく楽しい幼稚園にするには――
年毎の春に新入園児を迎える私共保育
者のそして貴女方お母様の何より先づ
心をくだくのは、このことでありまし
ょう。

それには、はじめに幼稚園の楽しい
環境を考えて見ましよう。

春を迎えて今をさかりの花を咲か

せ、或いは若芽の緑もつや、かな樹々、先生
と子供達との丹精が育てた赤・黄・紫色とり
々の草花、池の金魚やお玉じやくし、鳥籠
の小鳥も兎や山羊もみんな子供達の愛撫を待
つて居ます。

小山や芝生やお砂場ブランコ、じり台、子
供の大好きな遊び相手です。

明るく清潔な園舎、上品にしかも魅力的な
装飾された保育室、机も椅子も子供のために
作られ、大きな積木、ま、ごと道具、人形、
絵本等々、之等は先づ或る子供達の心をしつ
かり捉えることでしよう。

けれど何よりも先生の細やかな愛情をもつ
てひとりくに向けられた贈は無言の訴えを
もよみとり、明るく優しい笑顔と差しのべら
れた温かな手が、子供達の不安をとり去つて
くれましよう。先生に「みとめられている」
「まもられている」その安心感が安定感をも
たらし、すべてはその上に築かれて行きま
す。

子供をいつも集団としてのみ取扱うことは
必ずしも愛情の公平な分配ではありません。

幼児教育に対する充分な理解と、溢る、許
りの愛情をもち、周到に用意されたカリキュ

ラム(保育計画)に基づいてひとり
くを指導される先生ならば、子供達
は本当に幸福です。この様に先生は先
づ自分をも含めた幼稚園の環境を樂し
く明るく整えて子供達を迎えましよう。

お母様方は、幼稚園は楽しい所、先
生は優しい方と、子供の心に呼びかけ
て頂きたいものです。

(入園前にも、子供を中心にお母様
と先生との楽しい一日のつどいをもちたいと
思います) 幼児がはじめて体験する集団生活
に、一日も早くよろこんで参加することが出
来る様お母様方の配慮を切望致します。

云うまでもなく幼稚園教育には家庭との密
接な連絡と協力が大切なことです。先に申し
ました一人々々の指導を行う上からも、先生
は園児の一人々々の家庭環境、心身の発達状
況健康の記録特質傾向等を、家庭との連絡に
より知つていなくてはなりません。

殊に子供が望ましくない性情や傾向を示す
場合、例えば、仲間に入れなかつたり、仲間
をかき乱したり、うまくものが云えなかつた

